

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年2月16日(火) 11:00～11:50

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

発表事項

1. 最新3D技術で太古の生物を蘇らせよう
2. 山形大学の教育・研究活動紹介～感じる山形6 教科書の向こう側へ～
3. 学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」で本学チームが第1位！
4. 地域で活躍する学生団体紹介～ドットジェイピー山形支部～

お知らせ

1. 平成28年度山形大学入学者選抜個別学力検査等の取材について
2. 平成27年度山形大学学生表彰及び奨励表彰を実施します
3. 「放射光利用の最先端とこれからの地域創生」を開催いたします
4. 科学で東北を盛り上げ隊！@石巻

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成28年3月1日(火)11:00～11:45

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

学長定例記者会見（２月１６日）発表者

1. 最新３Ｄ技術で太古の生物を蘇らせよう

理工学研究科 ^{さいとう}齊藤 ^{あずさ}梓 研究支援者

山形県立博物館研究員（地学部門） ^{いしぐろこうじ}石黒宏治 さん

工学部３年 ^{おださとし}小田理士さん、^{たなかまさのぶ}田中政直さん

2. 山形大学の教育・研究活動紹介～感じる山形６ 教科書の向こう側へ～

学術研究院 ^{たきざわ}滝澤 ^{ただし}匡 准教授

地域教育文化学部１年 ^{いしじま}石島 ^{やすな}康那 さん

地域教育文化学部１年 ^{ゆうき}結城 ^{まい}麻衣 さん

3. 学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」で本学チームが第１位！

学術研究院 ^{くりやま}栗山 ^{やすなお}恭直 教授

理学部１年 ^{さいとう}齋藤 ^{しゅう}周 さん

工学部１年 ^{すずき}鈴木 ^{としき}駿希 さん

工学部１年 ^{さとう}佐藤 ^{けんすけ}謙介 さん

東北芸術工科大学３年 ^{すとう}須藤 ^{せいか}星香 さん

4. 地域で活躍する学生団体紹介～ドットジェイピー山形支部～

工学部３年 ^{えんどう}遠藤 ^{りょう}涼 さん （代表）

理学部３年 ^{いけの}池野 ^{かずき}一樹 さん （広報担当）

平成28年2月16日

山形大学

山形県立博物館

最新3D技術で太古の生物を蘇らせよう

3Dスキャナー、3Dプリンターを使って貴重なヤマガタダイカイギュウの化石を3Dデータ化、レプリカ作製

山形大学工学部機械システム工学科では、実験を通して機械工学における基本的な知識を学習するエンジニアリング創成という授業を行っている。古川英光研究室のグループは山形県立博物館の協力を得て、化石のレプリカ作製を通じて、3Dスキャナー、3Dプリンターの使い方を学ぶことをテーマにした。学生たちは、博物館所蔵のアンモナイトや三葉虫の化石の3Dスキャンを行い、さらにこれまでに1個体分しか発見されていない貴重なヤマガタダイカイギュウの化石のスキャンも行った。これらのデータを大学に持ち帰り、3Dデータの編集を行い、3Dプリンターを使用し、化石のレプリカを製作した。これらのレプリカは、2月27日から始まる山形県立博物館の企画展「化石-太古の不思議な生き物たち-」で化石をより身近に体感できる展示品として公開される。

【概要】

【エンジニアリング創成とは】

エンジニアリング創成は、機械システム工学科の3年生向けの授業です。少人数(5名～8名程度)のグループで、与えられた課題に取り組みます。課題はグループ別に担当教員の専門分野から最新の思考を凝らしたテーマが与えられます。受講生は、課題を見つけ、実験方法、実施計画をグループでディスカッションして、課題を解決することを目指しています。昨年、古川研究室ではプロジェクションマッピングの研究を行い、その成果として上杉雪灯籠祭りで雪灯籠へのプロジェクションマッピングを披露しました。

【古川研究室 ソフト&ウェットマター工学研究室(SWEL)について】

古川教授は、自らの研究室をソフト&ウェットマター工学研究室と名付け、固体と液体の中間的な性質を持つ「ゲル」という新材料の実用化を目指した様々な研究を行っています。ゲルは、生体親和性の高さから医療や食への展開が期待される材料であるが、加工、成形が難しいという欠点があります。古川教授らは、この問題を解決するために、3Dプリンターの技術を取り入れ世界で初めてゲルの自由造形を可能にする3Dゲルプリンターを開発したことで注目を集めています。また、古川教授らは、市町村や産業界と連携したもののづくり人材の育成、地域活性化に貢献しています。今回は、その一環として山形県立博物館の化石の3Dデータ化やレプリカの作製に貢献しました。

【ヤマガタダイカイギュウについて】

県内の小学生が発見した県の天然記念物のヤマガタダイカイギュウの化石は、昭和61年に海牛類の新種として登録されました。海牛類の進化を知る上で世界的に貴重なもので、現在までもこの1個体分しか発見されていません。新種の標準標本として収蔵庫内の金庫に厳重に保管されています。ヤマガタダイカイギュウの頭骨や新種の特徴である歯や指の骨の化石は学術的にも教育的にも価値が高い標本です。

【企画展「化石-太古の不思議な生き物たち-」】

会場 : 山形県立博物館

会期 : 2016年2月27日(土)～5月8日(日)

開館時間: 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日: 月曜日・祝日の翌日(ただし4月29日～5月6日は開館します)

イベント:

2016年3月19日(土)(14時30分まで随時受付) 石膏によるレプリカづくり体験

2016年5月3日(火)(受付10時30分、12時、14時)

石膏によるレプリカづくり体験+山大生による3Dプリンターによる化石レプリカづくり実演

資料数が多く人気も高い三葉虫とアンモナイトを中心に、古生代中生代の大量絶滅と進化の過程を交えながらわかりやすく解説展示します。また、普段金庫に保管されているヤマガタダイカイギュウの全身骨格や3Dプリンターによるさわれる化石のレプリカも展示します。

本展は、展示解説会のほか体験イベントとして化石のレプリカづくりも行います。従来の石膏によるレプリカづくりと、3Dプリンターによるレプリカづくりも山形大学工学部の協力を得て実施します。いままで化石に興味のなかった方でも気軽にみることができ、化石の魅力を感じ取っていただけるようにいたします。

【3D技術を用いた化石のレプリカ製作】

粘土で型を取り液状の石膏を流し込んでレプリカを作製する従来の方法には、複雑で壊れやすい化石に対して行うことは難しいという問題点があります。そこで、3Dスキャナーを用いて非接触で化石をデータ化し、3Dプリンターで複製する方法を試みました。

1)化石の3Dスキャン:3Dスキャナーは、ハンディタイプのものでターンテーブルタイプのものを使用し、化石の形状や色などによってどちらが使いやすいか検討しながら行いました。



ハンディタイプの3D スキャナー



ターンテーブルタイプの3D スキャナー

2)スキャンデータの修正:スキャン時に写りこんだ不要な部分の削除、複数回に分けて取り込んだデータの位置合わせを行いました。さらに、3D プリントするために穴埋め、厚み付けを行いました。サイズの大きいものは、3D プリンターのステージに合わせてデータを分割しました。

3)レプリカの3D プリント:3Dプリンターは、石膏粉末タイプと熱可塑性樹脂タイプの2種類を使用しました。石膏粉末タイプでは、質感が石に近くより本物らしいレプリカを作製した。熱可塑性樹脂タイプでは、安価で丈夫な子どもでも触れることのできるレプリカを作製した。

【このたび県立博物館に寄贈する化石レプリカ】

- ・ヤマガタダイカイギュウ頭骨・下顎骨・右肩甲骨・右上腕骨・右尺骨・橈骨
- ・三葉虫ブルメイステラ
- ・アンモナイト

本件に関するお問い合わせ

山形大学工学部ソフト&ウェットマター工学研究室

学術研究員(工学分野) 教授 古川英光

研究支援者 齊藤 梓

電話:0238-26-3197

E-mail: furukawa@yz.yamagata-u.ac.jp

URL: <https://www.facebook.com/swelbook/>

山形県立博物館

研究員(地学部門) 石黒 宏 治

電話:0238-645-1111

E-mail: ishiguroko@pref.yamagata.jp

URL: <http://www.yamagata-museum.jp/>



企画展

化石

太古の不思議な生き物たち



3Dプリンタでつくったレプリカをさわってみよう！



展示解説会

2016年2月27日(土)
3月27日(日)
4月23日(土)

※いずれも13時30分より

化石のレプリカづくり

2016年3月19日(土)
随時受付 10時～12時
13時～15時30分(受付14時30分まで)
2016年5月3日(火)

受付時間 10時30分、12時、14時(所要時間 1時間30分)

山形大学工学部の学生による3Dプリンタでの化石のレプリカづくりもあります。

開館時間 午前9時～午後4時30分
(ただし午後4時までに入館)

休館日 月曜日・祝日の翌日
(ただし4月29日～5月6日は開館します)

入館料 大人300円(団体150円)
学生150円(団体70円)

※高校生以下、障がい者の方と付添1名は無料

写真 上：三葉虫(本館蔵) /
中：アンモナイト(本館蔵) /
左：ヤマガタダイカイギュウ頭骨(本館蔵)

山形県立博物館

〒990-0826 山形市霞城町1-8 TEL 023-645-1111 FAX 023-645-1112
URL <http://www.yamagata-museum.jp/>

平成28年2月16日
山形大学

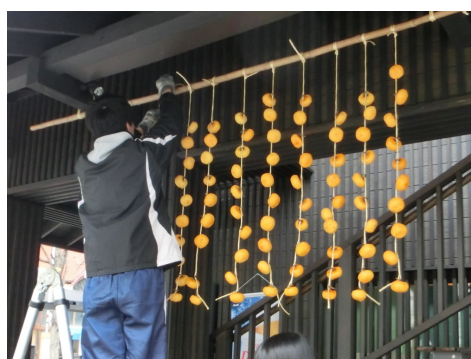
山形大学の教育・研究活動紹介～感じる山形6 教科書の向こう側へ～

「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を使命とする山形大学の“^{たきざわただし}旬な教育研究”を紹介します。今回は学術研究院（教育学生支援担当）の滝澤匡プロジェクト教員の「感じる山形6 ～教科書の向こう側へ～」です。

基盤教育科目「感じる山形6 ～教科書の向こう側へ～」では、山形県の地域の魅力を体験的に学習しながら、組織内で活躍するために必要なコミュニケーション力や年長者から教えるを請う積極的な姿勢など、社会人として必要な能力の育成を図っています。本科目は社会人力育成山形講座のプログラムとして開講され、東北芸術工科大学や東北公益文科大学の学生が単位互換を利用して受講しています。

体験プログラム「地域のにぎわいづくり体験」では、山形大と芸工大から7名の学生が、山形市柏倉地区で小正月の伝統行事（いわいいわい）と連動したイベント「柏倉ぼんぼりまつり」の運営に参加し、地域の文化と魅力にふれながら、それらを活用したまちづくりを体験しました。この体験では昨年11月にも活動し、収穫されない柿を利用し七日町の商業施設を干柿で彩るイベント「干柿まつり」の運営に参加しています。

プログラム「雪と共に生きる体験」では、3校の1年生7名が世界有数の豪雪地である尾花沢での4日間の除雪活動を通じて、雪の中で生きるご苦労を感じながら、そこから生まれた知恵・文化・人とのつながりといった尾花沢の魅力にふれました。



（お問合せ先）

学術研究院（教育学生支援担当）プロジェクト教員
滝澤 匡

電話：023-641-2681

Mail：ttakizawa@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年 2月16日
山形大学

学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」 で本学チームが第1位！

1月23日にキャンパス・イノベーション・センター（東京港区）で開催された平成27年度学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」で本学チーム「サイエンスコミュニケーションⅡ」が1位を獲得しました。

1. 学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」とは

学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」は、“つばさ”プロジェクト※連携校の全学共通教育科目において、学生が主体的に学習活動を行う授業（学生主体型授業：アクティブラーニング）を展開している教員の授業から学生が集まり、自分たちの活動の目的・方法等について、合同で成果の発表を行うもので、今回で7回目の開催となります。発表に向けた準備及び当日の発表と質疑応答を通して、学生が①自分たちの学習活動のプロセスと学習成果を振り返り、②達成の喜びと自己肯定感の向上を味わうとともに、③今後の学業や大学生活の更なる充実に向けた目標設定を行うことを目指します。

※“つばさ”プロジェクトとは、文部科学省の平成24年度『大学間連携共同教育推進事業』に採択された取組である、「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」の通称で、東日本広域圏の国公私立の大学等が連携する「FDネットワーク“つばさ”」の実績を基盤として、効率的かつ実質的な教育の質保証・向上システムを確立することを目的とします

2. 平成27年度「合同成果発表コンテスト」について

今年度の「合同成果発表コンテスト」は、1月23日（土）にキャンパス・イノベーション・センター（東京都港区）で開催され、FDネットワーク“つばさ”加盟校から7チームが参加しました（本学からは3チーム）。1チーム約15分の発表と質疑応答と行い、外部審査員2名を含む参加学生、教職員による審査の結果、本学の「サイエンスコミュニケーションⅡ」（担当教員：栗山恭直教授、参加学生：齋藤周さん、鈴木駿希さん、佐藤謙介さん）のチームが見事1位を獲得しました。

「サイエンスコミュニケーションⅡ」は、栗山恭直教授の開講している講義で、科学をより多くの人に知ってもらうために学生主体で活動を展開していく授業です。

過去の活動としては、小学校や中学校へ出張授業を行ったり、サイエンスカフェを開催したりしていました。これらを踏まえて、私たちは活動が一回きりになってしまわないような何か形に残る活動をしたと考えました。

そこで自分たちでオリジナルの「科学絵本」を製作して子供たちに科学の楽しさを伝えるような活動をしようと決めました。そうすることで活動後もたくさんの子供たちに読んでもらうことができると考えました。

絵本を製作するにあたり、各自で「科学の楽しさを伝える絵本」のストーリーを考えました。メンバーがそれぞれに考えた案から子供たちに馴染みやすそうなものであった「けんすけと科学星だいぼうけん」に決めました。主人公であるけんすけ君がある日突然科学星に招

待されて科学を身近に感じて科学を好きになっていくという話です。話の中にはメンバー全員が登場している内容になっています。

物語の内容が決まったのでストーリーの作成が始まりました。メンバー全員が理系だったので、各自の得意分野を担当することにしました。ここで注意したことはいかに難しい説明をせずにわかりやすく科学を表現するかということでした。子供の目線からでもわかりやすく、より身近に感じてもらえるような構成を心がけました。

ここで、絵本のイラストをどうするかという大きな問題が発生しました。絵本のイラストを読み聞かせをする子供たちに描いてもらう、色紙を切って貼るような絵にする、などいくつか考えましたが、自分たちの力では難しいと考え、メンバーの知り合いを通じて東北芸術工科大学デザイン工学部建築環境デザイン学科の三年生である須藤星香さんの紹介を受け、イラスト作成を依頼するに至りました。

絵本が完成に近づく一方で読み聞かせの訪問の依頼や当日の活動の動きについても並行して行いました。読み聞かせは絵本を読んだあとに、実際に科学実験をみんなで体験するという流れにしました。また実験は事前アンケートを実施し、児童の科学への関心とやってみたい実験を調査し、集計結果をもとに自分たちで実現可能な実験に決定しました。また、ご縁あって、絵本学会で理事をされている澤田精一さんや、吉田のりまきさん、岩波書店の編集者の方から絵本について講評を頂きました。

今回の活動は山形市立第四小学校の二年生に一回と山形市立第五小学校の三年生と四年生に一回ずつ計三回実施しました。うまく子供たちに科学の魅力が伝わるか不安でしたが、子供たちは絵本の読み聞かせと実験の両方に集中して取り組んでくれ、たくさんの笑顔や喜びの声をいただき、大成功におわりました。事後アンケートにも「科学を好きになった」「理科の勉強を頑張りたい」などの感想があり、この活動でのやりがいと責任を強く感じました。

今回の活動を通して、私たちは一つのことを一から考えて実行し成し遂げる達成感とその中にある多くの苦労を学びました。また、たくさんの方の協力があって初めて活動が成り立つのだと痛感しました。

今後の活動について、絵本を増刷し今回活動をさせていただいた小学校や山形市内の図書館に寄贈させて頂く予定です。また、読み聞かせを今回の経験を活かしメンバーが所属する山形大学 SCITAセンターでの活動へ引き継いでいこうと考えています。

今回のサイエンスコミュニケーションⅡでの活動を通して子供たちが少しでも科学に興味を持ってくれたら嬉しいです。早い時期から科学に対してマイナスのイメージを持ってしまうということは子供たちのせっきくの可能性を狭めてしまいます。それはとても勿体ない事ですし、悲しいことだと思います。そうではなく、科学が楽しいと感じ、一人でも多くの子供たちが科学を好きになってくれるような活動をしていきたいと思います。また、今回の活動で使用した絵本やアンケートを下記URLから閲覧することが出来ますので、見ていただけたら幸いです。

最期に、小学校の児童の皆さん、先生方、素敵な絵を描いて下さった須藤さん、SCITAセンターのメンバー、そしてこのような素晴らしい機会を下さった栗山教授をはじめ本当に多くのご協力がありました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

ホームページURL : <http://kensukeh878.wix.com/elemens>



会場の様子



発表の様子01



発表の様子02



作成した絵本を見る参加学生



他大学の発表に質問する本学学生



参加者での記念撮影

(お問い合わせ)
 小白川キャンパス事務部
 教務課教育企画担当 齋藤
 電話：023(628)4720
 Mail: k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年2月16日

山形大学

地域で活躍する学生団体紹介 ～ドットジェイピー山形支部～

「地域創生」を使命の1つとする山形大学では、学生が地域で様々な活躍をしています。今回は、「ドットジェイピー山形支部」をご紹介します。

【ドットジェイピー山形支部とは？】

NP0法人ドットジェイピー山形支部は「若年投票率の向上」と「Japan Producerの創出」を理念に掲げる全国組織の1支部です。現在は山形大学と東北芸術工科大学の学生計20名で運営しております。

主な展開事業は次の通りです。

①議員インターンシップ事業

学生の長期休みに議員のもとへインターンシップをして社会体験を行うものです。

②未来事業

自分が首長・首相だったら30年後、どんな自治体・日本にしたいかを考え、10年後の予算と政策を考えるものです。

《今期の活動内容》

現在は、「2016年春の議員インターンシップ」と震災から5年の節目として開催される「未来自治体TOHOKU」の2つを展開しております。

① 春の議員インターンシップ

40名の大学生が23名の議員のもとで春休みの2ヶ月間、実地での体験を通して、学びを深めます。

② 未来自治体 TOHOKU

NP0法人ドットジェイピー山形・東北(宮城・岩手)・福島の3支部で開催する震災から5年という節目に行うイベントです。「未曾有の大震災から5年、東北に住む若者たちは未来をどのように考え、そしてどのように行動していくのか。もし自分が首長だったら自治体予算はどのように作るか」というテーマのもと、次世代を担う若者たちが未来のまちのビジョンを掲げ、政策・予算にまで落とし込みコンテスト形式で競い合います。

キックオフが山形で1月30日に行われました。決勝大会が3月26日に福島県で開催される予定です。

《活動実績》

NPO法人ドットジェイピー山形支部は今年の4月で創立2年を迎える支部です。
のべ、参加学生134名、受け入れ議員65名となっております。
また、議員インターンシップと並行して行う、インターン生が自ら社会問題を取り上げ、インターンシップの経験から自分独自の解決策を考える活動では、その中から実際に議会の一般質問に反映された例もあります。
また、選挙管理委員会と協力して、山形市の成人式での啓発活動や、大学への期日前投票所設置、18選挙権シンポジウムのサポート等を行いました。

《今後の展望》

①山形大学以外の大学への進出

山形支部は、現在山形大学のキャンパスがある、山形市、米沢、鶴岡市をメインに活動しております。今後は県内でより多くの学生にインターンシップを経験していただくために、山形大学以外の大学にも活動を広げていく予定です。

③ 新潟進出

まだ議員インターンシップの拠点が無い新潟県へ山形から拡大させていこうと考えています。



【山形支部Facebook】

<http://qq4q.biz/qCdY>

【未来自治体TOHOKU】

<http://tohoku2016.miraijichitai.com/>

(お問い合わせ先)

小白川キャンパス事務部学生課

電話：023-628-4121

平成28年2月16日
山形大学

1. 平成28年度 山形大学入学者選抜個別学力検査等の取材について

以下の内容で行いますので、円滑な実施についてご協力をお願いします

【前期日程】 2月25日（木）8:00-18:00

2月26日（金）8:30-12:00

【後期日程】 3月12日（土）8:30-12:00

詳細は別紙通知をご覧ください。

2. 平成27年度 山形大学学生表彰及び奨励表彰を実施します

以下の内容で行いますので、取材方、よろしくお願いします。

◇日時：2月16日（火）

◇場所：山形大学事務局第一会議室

詳細は別紙通知をご覧ください。

3. 「放射光利用の最先端とこれからの地域創生」を開催いたします

以下の内容で行いますので、取材方、よろしくお願いします。

◇日時：3月4日（金）13:30-17:30

◇場所：山形大学米沢キャンパス5号館207室

◇参加：無料

詳細は別紙通知をご覧ください。

4. 科学で東北を盛り上げ隊！@石巻

以下の内容で行いますので、取材方、よろしくお願いします。

◇日時：3月5日（土）10:00-15:00

◇会場：こもればの降る丘遊楽館（石巻市北村）

詳細は別紙通知をご覧ください。

以上

平成28年2月16日
山形大学

平成28年度山形大学入学者選抜個別学力検査等の取材について

— 個別学力検査等の円滑な実施にご協力をお願いします —

◇山形大学個別学力検査等に係る取材については、別添「平成28年度個別学力検査等の取材について」のとおりとしますので、取材の際は申出期限までに希望される学部を担当に連絡願います。

◇試験当日は、撮影開始時刻の10分前までに、各学部が指定する集合場所（取材申込み時に各学部を確認のこと。）にお集まりください。

◇取材の参考として、次の資料を配付します。

1. 平成28年度山形大学一般入試志願状況「確定」
2. 平成28年度山形大学個別学力検査等実施日程表
3. 平成28年度個別学力検査等試験問題公表予定時刻（面接・実技を除く）

◇試験当日の教科・科目別受験状況の公表は、2月25日（木）及び3月12日（土）の午後5時頃まで報道機関各社宛にファックスを送信します。

◇試験当日、小白川キャンパスに車両でお越しになる場合は、本部事務局棟前の外来駐車場に駐車願います。

なお、次の時間帯は、大学正門から車両の入・出構はできませんので、南門から入構してください。経路については、別添「4. 出・入構経路について」をご覧ください。

【前期日程】 2月25日（木） 8：00～18：00
2月26日（金） 8：30～12：00
【後期日程】 3月12日（土） 8：30～12：00

（参考）合格者の発表日時

【前期日程】 3月 7日（月） 11：00
【後期日程】 3月20日（日） 16：00

なお、合格者の発表時の取材については、事前の申込みは必要ありません。

（お問い合わせ先）
インフォメーション・マネジメント部入試課
前田・豊田
電話 023(628)4141

平成28年度個別学力検査等の取材について

山形大学

- 1 個別学力検査等の取材については、あらかじめ下記期日までに試験場責任者(各学部長)の了承を得てください。

なお、その後の申出については受けられないことがありますので、ご注意ください。

【申出期限】

前期日程は2月22日(月)、後期日程は3月9日(水)とします。

【申出先】

学 部	担 当	電 話
人 文 学 部	人文学部学務担当	☎023(628)4207
地域教育文化学部	地域教育文化学部学務担当	☎023(628)4310
理 学 部	理学部学務担当	☎023(628)4710
医 学 部	医学部入試担当	☎023(628)5049
工 学 部	工学部入試担当	☎0238(26)3013
農 学 部	農学部学務担当	☎0235(28)2808

- 2 試験室内の撮影は、前期日程は2月25日(木)、後期日程は3月12日(土)とし、試験場責任者の指定する職員の立会いのもとで行ってください。

(1) 撮影は、試験場責任者が指定した試験室でのみ許可します。

(2) 撮影時間は、試験開始前の次の時間内(10分以内)とします。

① 前期日程：2月25日(木)

人 文 学 部	9 : 4 0 ~ 9 : 5 0
地域教育文化学部	9 : 1 0 ~ 9 : 2 0
理 学 部	9 : 1 0 ~ 9 : 2 0
医 学 部	9 : 1 0 ~ 9 : 2 0
工 学 部	9 : 1 0 ~ 9 : 2 0
農 学 部	9 : 1 0 ~ 9 : 2 0

② 後期日程：3月12日(土)

人 文 学 部	9 : 4 0 ~ 9 : 5 0
地域教育文化学部	9 : 1 0 ~ 9 : 2 0
理 学 部	9 : 1 0 ~ 9 : 2 0

(3) 受験者に動揺を与えないよう注意してください。

(4) 受験者が特定できるような撮影は、禁止します。

- 3 取材者は、必ず各社の腕章を着用してください。

- 4 身体に障害のある受験者の取材については、あらかじめ本人の了解を得る必要があるため、試験場責任者の指示に従ってください。

- 5 不測の事態発生時の取材について

不測の事態が発生して試験が中止された場合等においても、必ず試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。

- 6 個別学力検査等の実施に関する不明な点については、エンロールメント・マネジメント部入試課にお問い合わせください。(☎023(628)4141)

1. 平成28年度山形大学一般入試志願状況「確定」

学部・学科等名			平成28年度			(参考)平成27年度			
			募集人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者数	倍率	
人文学部	人間文化学科		前期	68	238	3.5	68	225	3.3
			後期	17	240	14.1	17	133	7.8
	法経政策学科		前期	130	296	2.3	130	275	2.1
			後期	35	248	7.1	35	212	6.1
	計		前期	198	534	2.7	198	500	2.5
			後期	52	488	9.4	52	345	6.6
			計	250	1,022	4.1	250	845	3.4
地域教育文化学部	地域教育文化学科	児童教育コース	前期	55	155	2.8	55	122	2.2
			後期	13	214	16.5	12	129	10.8
		異文化交流コース	前期	12	46	3.8	12	32	2.7
		造形芸術コース	前期	10	15	1.5	10	15	1.5
		音楽芸術コース	前期	14	31	2.2	14	32	2.3
		スポーツ文化コース	前期	14	62	4.4	14	67	4.8
		食環境デザインコース	前期	21	77	3.7	21	66	3.1
			後期	8	72	9.0	8	56	7.0
		生活環境科学コース	前期	12	35	2.9	12	39	3.3
			後期	8	97	12.1	8	46	5.8
	計	前期	12	51	4.3	12	24	2.0	
		後期	10	141	14.1	10	75	7.5	
		前期	150	472	3.1	150	397	2.6	
		後期	39	524	13.4	38	306	8.1	
		計	189	996	5.3	188	703	3.7	
理学部	数理科学科		前期	30	78	2.6	30	68	2.3
			後期	5	42	8.4	5	24	4.8
	物理学科		前期	26	82	3.2	26	79	3.0
			後期	4	19	4.8	4	14	3.5
	物質生命化学科		前期	35	133	3.8	35	99	2.8
			後期	3	22	7.3	3	11	3.7
	生物学科		前期	22	63	2.9	22	64	2.9
			後期	3	11	3.7	3	17	5.7
	地球環境学科		前期	15	42	2.8	15	33	2.2
			後期	5	14	2.8	5	25	5.0
	計		前期	128	398	3.1	128	343	2.7
			後期	20	108	5.4	20	91	4.6
計			148	506	3.4	148	434	2.9	
医学部	医学科		前期	90	391	4.3	90	274	3.0
			後期	10	192	19.2	10	115	11.5
	看護学科		前期	38	87	2.3	38	57	1.5
	計		前期	128	478	3.7	128	331	2.6
			後期	10	192	19.2	10	115	11.5
			計	138	670	4.9	138	446	3.2

1. 平成28年度山形大学一般入試志願状況「確定」

学部・学科等名			平成28年度			(参考)平成27年度		
			募集人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者数	倍率
工学部 昼間 コース	機能高分子工学科	前期	69	200	2.9	69	206	3.0
		後期	10	42	4.2	10	42	4.2
	物質化学工学科	前期	49	77	1.6	49	190	3.9
		後期	10	76	7.6	10	71	7.1
	バイオ化学工学科	前期	40	101	2.5	40	83	2.1
		後期	10	70	7.0	10	32	3.2
	応用生命システム工学科	前期	49	100	2.0	49	184	3.8
	情報科学科	前期	49	142	2.9	49	152	3.1
		後期	10	43	4.3	10	41	4.1
	電気電子工学科	前期	50	137	2.7	50	200	4.0
		後期	9	26	2.9	9	41	4.6
	機械システム工学科	前期	75	202	2.7	75	260	3.5
		後期	10	58	5.8	10	49	4.9
	計	前期	381	959	2.5	381	1,275	3.3
後期		59	315	5.3	59	276	4.7	
計		440	1,274	2.9	440	1,551	3.5	
工学部 フレックス コース	システム創成工学科	前期	35	188	5.4	35	246	7.0
	計	前期	35	188	5.4	35	246	7.0
		計	35	188	5.4	35	246	7.0
農学部	食料生命環境学科	前期	95	322	3.4	95	255	2.7
		後期	30	172	5.7	30	192	6.4
	計	前期	95	322	3.4	95	255	2.7
		後期	30	172	5.7	30	192	6.4
		計	125	494	4.0	125	447	3.6
大学計		前期	1,115	3,351	3.0	1,115	3,347	3.0
		後期	210	1,799	8.6	209	1,325	6.3
		計	1,325	5,150	3.9	1,324	4,672	3.5

２．平成２８年度山形大学個別学力検査等実施日程表

前期日程 平成２８年２月２５日（木）

学部	学 科 等	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	備 考
人文	人間文化 法経政策			小論文		数 学		外国語				
地域教育文化	児童教育 異文化交流 音楽芸術 スポーツ文化 食環境デザイン 生活環境科学			小論文		外国語						
				面接								
				実技検査								
				実技検査								
				理科(化学・生物)				外国語				
				面接								
理	数理科 物理 物質生命化 生物 地球環境					数 学						
				理科(物理)		数 学						
				理科(化学)								
				理科(生物)								
				小論文								
医	医 看護			理科(物理・化学・生物)		数 学		外国語				
								外国語				
工 昼間	情報分子・情報 電気電子・機械 物質化学 バイオ化学 応用生命システム			理科(物理・化学)		数 学						
				理科(物理・化学)								
				理科(化学・生物)								
						数 学						
工 フレックス	システム創成			理科(物理・化学)		数 学			面接			
農	食料生命環境			理科(化学・生物)		数 学						

２．平成２８年度山形大学個別学力検査等実施日程表

前期日程 平成２８年２月２６日（金）

学部	学 科 等	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	備 考			
地域教育文化	造形芸術		実 技 検 査					実 技 検 査							
	音楽芸術		実 技 検 査												
	システム情報学		面 接												
医	医 看護		国 語			面 接									
			面 接												

前期日程

人文学部・地域教育文化学部・理学部の試験会場は、小白川キャンパス（山形市小白川町１丁目４－１２）

医学部の試験会場は、飯田キャンパス（山形市飯田西２丁目２－２）

工学部の試験会場は、米 沢 試 験 場 ：米沢キャンパス（米沢市城南４丁目３－１６）

名古屋試験場 ：河合塾名駅キャンパス名古屋校（愛知県名古屋市中村区椿町２－１）

農学部の試験会場は、鶴岡キャンパス（鶴岡市若葉町１－２３）

小白川キャンパス（山形市小白川町１丁目４－１２）

2. 平成28年度山形大学個別学力検査等実施日程表

後期日程 平成28年3月12日(土)

学部	学 科 等	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	備 考
人文	人間文化 法経政策			外国語								
地域教育文化	児童教育 食環境デザイン 生活環境科学 システム情報学											
理	数理科											
医	医											

後期日程
人文学部・地域教育文化学部・理学部の試験会場は、小白川キャンパス（山形市小白川町1丁目4-12）
医学部の試験会場は、飯田キャンパス（山形市飯田西2丁目2-2）

3. 平成28年度個別学力検査等試験問題公表予定時刻(面接・実技を除く)

前期日程(2月25日(木))

学 部	実施科目等	試験時間	公表予定時刻
人文学部	小論文	10:00～12:00	13:00
	数学	12:30～14:00	18:00
	外国語	15:00～16:30	18:00
地域教育文化学部	理科(化学) 理科(生物)	9:30～11:30	13:00
	小論文	12:30～14:00	18:00
	外国語	15:00～16:30	18:00
理 学 部	理科(物理)	9:30～11:00	13:00
	理科(化学)	9:30～11:30	
	理科(生物)	9:30～11:30	
	小論文	9:30～11:30	
	数学(数理科学科)	12:30～14:30	18:00
	数学(物理学科)	13:00～14:30	
医 学 部	理科(物理) 理科(化学) 理科(生物)	9:30～11:30	13:00
	数学	12:30～14:30	18:00
	外国語	15:30～17:00	18:00
工 学 部	理科(物理) 理科(化学) 理科(生物)	9:30～11:30	13:00
	数学	13:00～15:00	18:00
農 学 部	理科(化学) 理科(生物)	9:30～11:30	13:00
	数学	12:30～14:30	18:00

前期日程(2月26日(金))

学 部	実施科目等	試験時間	公表予定時刻
医 学 部	国語	10:00～11:30	13:00

後期日程(3月12日(土))

学 部	実施科目等	試験時間	公表予定時刻
人文学部	外国語	10:00～11:00	12:30

※配付場所：山形大学事務局棟1階ホール(「入・出構経路について」参照)

平成28年2月16日

山形大学

平成27年度山形大学学生表彰及び奨励表彰を実施します。

山形大学学生表彰受賞者及び奨励表彰の受賞者が決定し、表彰式を行います。

学生表彰は、本日2月16日（火）12：00より実施し、奨励表彰は、翌2月17日（水）14：00より実施します。

山形大学学生表彰は、学術研究活動、学業成績、課外活動、社会貢献活動等において、特に顕著な業績を挙げ、表彰に値すると認められる学生又は学生団体を、教育・学生支援を担当する理事・副学長、学部長及び研究科長が推薦し、学長が表彰を決定するものです。

山形大学奨励表彰は、学生表彰に該当する者以外で、学術研究活動、課外活動、社会貢献活動等において、顕著な業績を挙げた学生又は学生支援等で高い評価を受けた者に対して表彰を行います。推薦は、学生又は各学部及び研究科等の教職員が行い、教育・学生支援担当である理事・副学長が表彰を決定します。

今年度の受賞者は、学生表彰は学生6名と学生団体3団体、奨励表彰は学生27名と学生団体6団体となり、それぞれ表彰式が行われます。

表彰式	学生表彰	奨励表彰
日時	2月16日（火）12時～	2月17日（水）14時～
場所	事務局3階第1会議室	事務局3階第1会議室
表彰者	学長	理事・副学長 （教育・学生支援担当）

（担当）

教育・学生支援部学務課（廣谷）

電話：（内線）4015

E-mail：k-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成27年度 学生表彰受賞者一覧

番号	氏名・団体名	所属	推薦理由	推薦者	規程該当基準	備考
1	うめづ 梅津 ゆうい 悠衣	地域教育文化学部 地域教育文化学科	公益財団「アイヌ文化財団」が広く全国に募集したコンクール「アイヌの伝統・文化を題材にした絵本の原作募集」において、アイヌの伝統文化について自ら学び、絵本の原作（絵と文）を作り上げ、最優秀賞という顕著な評価を得たため。	地域教育文化学部長	第2条第1項 学術研究活動	
2	ワタナベ 渡邊 ユズキ 柚	地域教育文化学部 地域教育文化学科	全日本学生剣道連盟主催の第10回全日本学生剣道オープン大会において第3位という成績を修めたため。	地域教育文化学部長	第2条第3項 課外活動	
3	フェンシング部	代表：地域教育文化学部 地域教育文化学科 荻原 賢悟 (おぎはら けんご)	第51回全国国公立大学フェンシング選手権大会において男子団体（総合）準優勝の成績を取ったため。	地域教育文化学部長	第2条第3項 課外活動	
4	山形大学吹奏楽団	代表：理学部 物質生命化学科 高橋 拓也 (たかはし たくや)	全日本吹奏楽コンクール第63回全国大会大学の部において技術、音楽表現が高く評価され銀賞を受賞し、地域の音楽文化発展にも貢献したため。	地域教育文化学部長	第2条第3項 課外活動	
5	サカイ 酒井 ヨシヤ 義也	工学部 機能高分子工学科	2015年秋季応用物理学会における学術研究成果の口頭発表により「第39回応用物理学会講演奨励賞」を受賞し、さらに同年11月に九州大学にて行われた有機EL討論会第21回例会における学術研究成果の口頭発表により「有機EL討論会第21回例会講演奨励賞」を受賞したため。	工学部長	第2条第1項 学術研究活動	
6	ツチャ 土屋 みなみ みなみ	工学部 応用生命システム工学科	「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」の第1期生として、日本全国の学生応募者約1700名から選抜され、優秀な成績を修めた。加えて、平成27年11月1日に東京で開催された第1回成果報告会（文部科学省主催）において、参加者120名の中から4名が選出される「優秀賞」を受賞し、文部科学大臣から賞状を授与されたため。	工学部長	第2条第2項 学業成績	
7	ヌマタ 沼田 アツシ 敦史	工学部 システム創成工学科	平成27年度パテントコンテストに「可変及び収納式刃付き食品スラサー」の名称の発明を提出し、入選（特許出願支援対象に選ばれた）ため。（※担当弁理士の指導の下、上記の発明を特許として出願するための準備を行っている）	工学部長	第2条第3項 課外活動	
8	コマツ 小松 リュウタロウ 龍太郎	理工学研究科 有機材料工学専攻	2015年10月に北京大学で行われた有機エレクトロニクスの国際会議、7th Asian Conference on Organic Electronics にて、80件あるポスターの最優秀賞Gold awardを受賞した。加えて、論文が英国王立化学会の学術雑誌 J. Mater. Chem. C (IF: 4.696) に掲載され、非常に高い評価を受け、バックカバーに推薦されたため。	理工学研究科長	第2条第1項 学術研究活動	
9	UVGPチャレンジ	代表：工学部 応用生命システム工学科 中川 一貫 (なかがわ いっかん)	経済産業省、文部科学省等の共催による、University Venture Grand Prixにおいて、全国から79チームの応募の中から本団体が構成した2チームが、いずれもベスト8として全国大会に進んだ。また、全国大会の決勝大会では多くの聴衆の前に、堂々とビジネスプランをプレゼンテーションし、多くの方から高い評価を得られ、本学のPRにつながったため。	工学部長	第2条第3項 課外活動	

平成27年度 奨励表彰受賞者一覧

番号	氏名・団体名	所属	推薦理由	推薦者		該当項目	備考
				自薦・他薦の別	氏名		
1	イチヨウ ヒロキ 市川 広樹	人文学部 人間文化学科	2015年7月18日（土）・19日（日）に開催された「第66回東北地区大学体育大会」に出場し、陸上競技男子4×400mリレーで2位入賞したため。	他薦	人文学部 北川 忠明	課外活動	
2	サトウ ユメ 佐藤 ゆめ	人文学部 人間文化学科	「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」の1期生に採択され、インドネシアの大学に留学し、インドネシア語とインドネシア文化を学んだほか、英語力を磨いた。帰国後は、小白川国際センター主催の短期派遣留学生説明会や「トビタテ！留学JAPAN」の説明会などで、学生講師として後輩学生の指導にあたり、第2期以降の採択に貢献。留学の成果を活かして、インドネシアン近代史に関する優秀な卒業論文を書き上げたため。	他薦	人文学部 中村 篤	その他	
3	アベ ミスズ 阿部 美鈴	人文学部 法経政策学科	東北地区または東北地区を含む複数の地区が合同で行う将棋の競技会に出場し入賞したため。	他薦	人文学部 尻無濱 芳崇	課外活動	
4	イシイ タカシ 石井 孝志	人文学部 法経政策学科	2011年11月に結成された被災地復興支援学生団体「START Tohoku」の代表を務め、石巻における様々な復興支援活動を主導的に企画・運営してきた。特に、地元住民との交流を通して石巻の復興状況と課題を検討する「石巻ステディファア」および「復興応援ストラップ販売」の実施は、社会的に高く評価されており、表彰に値する実績があるため。	他薦	人文学部 中島 宏	社会貢献活動	
5	タカシナ ニュウスケ 高階 悠輔	人文学部 法経政策学科	NPO法人IVYを母体とする学生団体IVYyouthに所属し、①カンボジア教育支援（H23・H24）および②国際理解教育（H24・H25）の各部門代表として活躍した。近時、特に①に関して社会的に評価が高まっており、活動の立役者の一人として表彰に値する実績があるため。	他薦	人文学部 中島 宏	社会貢献活動	
6	学生広報部YUM! 栗原 美季 （くりはら みき）	代表：人文学部 人間文化学科 栗原 美季 （くりはら みき）	学生目標によって山形大学と学生の紹介をするために、山形大学AAとして活動。全てのキャンパスに支部を置き、大学のイベントや学生サークルの活動、学生生活の様々な姿、学生から見た教員の活動など、山形大学の多面的な魅力を高校生や受験生に伝え、山形大学の広報活動にとって、多大な貢献をしているため。	他薦	人文学部 山崎 彰	その他	
7	アハラ シンヤ 相原 隼耶	地域教育文化学部 地域教育文化学科	第66回東北地区大学体育大会陸上競技男子4×100mリレー第3位という成績を収めたため。	他薦	地域教育文化学部 渡邊 信晃	課外活動	
8	カシノ シオリ 菅野 沙里	地域教育文化学部 地域教育文化学科	全国規模の声楽コンクールである「東京国際声楽コンクール」（大学生部門受験者総数82名）において、地区予選、東日本准本選を通過して全国大会に出場できたことは、大いに評価できるため。	他薦	地域教育文化学部 藤野 祐一	課外活動	
9	サトウ サキ 佐藤 早希	地域教育文化学部 地域教育文化学科	ORGANIC LED Design Competition 2015（主催：MCバイオンアOLEDライティング株式会社）において、実施空間対象部門への提案が審査員特別賞（第3席）を受賞したため。	他薦	地域教育文化学部 齋藤 学	課外活動	
10	サトウ ミナミ 佐藤 穂奈美	地域教育文化学部 地域教育文化学科	第68回東北学生陸上競技対校選手権大会女子走り高跳び第2位、第66回東北地区大学体育大会陸上競技女子走り高跳び 第3位という成績を収めたため。	他薦	地域教育文化学部 渡邊 信晃	課外活動	
11	ソブ アヤコ 蘇武 絢子	地域教育文化学部 地域教育文化学科	全国規模の声楽コンクールである「東京国際声楽コンクール」（大学生部門受験者総数82名）において、地区予選、東日本准本選を通過して全国大会に出場できたことは、大いに評価できるため。	他薦	地域教育文化学部 藤野 祐一	課外活動	
12	タナカ シンタロウ 田中 慎太郎	地域教育文化学部 地域教育文化学科	第30回国公立25大学対校陸上競技大会男子200m第2位、第66回東北地区大学体育大会陸上競技男子4×400mリレー第2位、男子4×100mリレー第3位、男子200m第3位という成績を収めたため。	他薦	地域教育文化学部 渡邊 信晃	課外活動	
13	ヨシノ ワツ 淀野 輪河	地域教育文化学部 地域教育文化学科	第66回東北地区大学体育大会陸上競技男子4×400mリレー第2位、男子4×100mリレー第3位という成績を収めたため。	他薦	地域教育文化学部 渡邊 信晃	課外活動	
14	女子バスケットボール部	代表：地域教育文化学部 地域教育文化学科 宮崎 わかな （みやざき わかな）	平成27年度東北地区大学体育大会第1位、第62回東北大学バスケットボール選手権大会兼第62回全日本大学バスケットボール選手権大会予選会第2位（全日本大学バスケットボール選手権大会出場）、第70回東北男女総合バスケットボール選手権大会第3位という輝かしい成績を収めたため。	他薦	地域教育文化学部 池田 英治	課外活動	
15	男子剣道部	代表：地域教育文化学部 地域教育文化学科 藤田 裕太郎 （ふじた ゆうたろう）	東北学生剣道優勝大会（全日本学生剣道優勝大会（全日本学生剣道連盟主催）への予選となる大会）において、第3位となり、全国大会出場に出場したため。	他薦	地域教育文化学部 竹田 隆一	課外活動	
16	女子剣道部	代表：地域教育文化学部 地域教育文化学科 渡邊 柚 （わたなべ ゆずき）	全国国立大学の教育系学部学生を対象とする全国教育系大学剣道大会において、第3位という成績を収めたため。	他薦	地域教育文化学部 竹田 隆一	課外活動	
17	シバタ コウ 柴田 宏	理学部 物質生命化学科	第44回東北学生陸上競技選手権大会女子三段跳び第3位という成績をおさめたため。	他薦	理学部 日野 修次	課外活動	

番号	氏名・団体名	所属	推薦理由	推薦者		該当項目	備考
				自薦・他薦の別	氏名		
18	ショウムラカオル 正村 薫	理学部 物質生命化学専攻	第10回全日本学生創造オープン大会において女子武段以下の部において第三位の成績をおさめた。加えて、サイタセンター学生スタッフとして、ボランティア活動にも熱心に参加しているため。	他薦	理学部 栗山 恭直	課外活動	
19	アベ ケンタ 阿部 健太	理工学研究科 地球共生圏科学専攻	スペインのサラマンカ大学で開催された国際学会（5th Polar Marine Diatom Workshop）で30分の英語の口頭発表を行い、北極の分野において優秀発表した学生に送られる賞（Best Arctic Student）を受賞したため。	他薦	理学部 リチャード・ジョルダン	学術研究活動	
20	イバ花 板花 まどか	理工学研究科 地球共生圏科学専攻	電波レリックスを持った銀河団のX線観測データ解析を行い、先行研究の電波観測から予想される衝撃波のマップハ数とX線観測から得られたものが明確に食い違うことを示し、標準的な衝撃波粒子加速理論では説明できないことを明らかにした。この研究において主導的な役割を担い、博士後期課程1年という早い時期で2015年にPASJ誌から筆頭著者論文の出版を成し遂げたため。	他薦	理学部 滝沢 元和	学術研究活動	
23	イシヨリ ユウマ 老川 由馬	理工学研究科 物理学専攻	山形大学とNASA/MSFCの共同研究において、NASA/MSFCでのデータ収集システムの立ち上げ作業を担当した。これによって、共同開発している検出器からのデータ収集をNASA/MSFCでも行える様になり、本研究に大きく貢献したため。	他薦	理学部 郡司 修一	学術研究活動	
21	ヤウジツフ 北條 健太	理工学研究科 物質生命化学専攻	東北学生陸上競技対校選手権大会男子1500m第3位という成績を収めたため。	他薦	理学部 松井 淳	課外活動	
22	ヌノミヤ ハヤト 布宮 颯人	工学部 応用生命システム工学科	2015年7月18日（土）・19日（日）に開催された「第66回東北地区大学体育大会」に出場し、陸上競技男子4×100mリレーで第3位という成績をおさめたため。	他薦	理事 安田 弘法	課外活動	
24	イノウエ タケヲ 伊藤 拓哉	理工学研究科 機能高分子工学専攻	JSTプログラム「さくらサイエンスプラン」でアジアの若手留学生9名を招へいて18日間の国際交流を行い、学生リーダーとして支援した。また、プラスチック成形加工学会東北・北海道支部とさくらサイエンスプランの合同企画で開催された「International Workshop for Asian Young Researchers on Polymer Processing and Rheology」（日本と東アジアの若手研究者による高分子レオロジー・成形加工研究会）に参加して英語でポスター発表を行い、ポスター賞（1位）を受賞した。	他薦	理工学研究科 杉本 昌隆	学術研究活動	
25	イノマタ ススム 播磨 ススム	理工学研究科 有機デバイス工学専攻	研究成果をまとめた論文、「High-Performance Green OLEDs Using Thermally Activated Delayed Fluorescence with a Power Efficiency of over 100 lm W ⁻¹ 」が査読付き一流学術雑誌Advanced Materials（IF: 17.49）に掲載された。論文内容が非常に優れていたため、表紙に掲載され、近日掲載予定である。また、別途査読付き学術雑誌Chemical Communications（IF: 6.83）、Synthetic Metals（IF: 2.25）、Chemistry Letters（IF: 1.23）に共著論文が掲載されたため。	他薦	理工学研究科 笹部 久宏	学術研究活動	
26	KARIYAWASAM INDIPALAGE AMILA SAMPATH （カーリヤワサム インディパーラゲー アミラ サムパット）	理工学研究科 電子情報工学専攻	国際会議The 20th Optoelectronics Communication Conferenceにおいて、Best Student Paper Awardを受賞したため	他薦	理工学研究科 高野 勝美	学術研究活動	
27	カマタ タカヒロ 鎌田 高弘	理工学研究科 有機デバイス工学専攻	第64回高分子討論会において、「低電圧青色リン光素子を実現するフッ素置換フェニルビリジン誘導体電子輸送材料群の開発」のタイトルでポスター発表を行い、優秀ポスター賞を受賞した。824名の発表の中、受賞者は35名である。旧帝国大学の研究室からの中、山形大学からは2名のみである。また、本内容をまとめた査読付き学術論文は、英国王立化学会の学術雑誌 J. Mater. Chem. C（IF: 4.690）に“A series of fluorinated phenylpyridine-based electron-transporters for blue phosphorescent OLEDs”のタイトルで掲載された。	他薦	理工学研究科 笹部 久宏	学術研究活動	
28	サカタ コウヤ 坂田 昂弥	理工学研究科 バイオ化学工学専攻	生命機能維持に不可欠であるミトコンドリアの機能分化に関する最先端の研究を発表（国内学会7演題、国際会議1演題）し、学会で高い評価を受けたため。	他薦	理工学研究科 阿部 宏之	学術研究活動	
29	シゲヤマ ユウキ 茂山 由季	医学部医学科	平成27年8月に行われた、第58回東日本医科学生総合体育大会ゴルフ競技女子個人において、優勝の成績を収めたため。	他薦	医学部 根本 建二	課外活動	
30	ナカズミ ミホ 中角 美穂	医学部医学科	平成27年8月に行われた、第58回東日本医科学生総合体育大会女子400m自由形競泳において第一位優勝を収めたため。	他薦	医学部 上野 義之	課外活動	
31	ミカヅキ マサキ 三上 諒樹	医学部医学科	平成27年7月に実施された、第66回東北地区総合体育大会陸上競技男子4×400mリレー競技において、第二位の成績を収めたため。	他薦	医学部 浅尾 裕信	課外活動	
32	医学部サッカー部	代表：医学部医学科 山口 翔 （やまぐち しょう）	第19回山形県サッカー総合選手権大会優勝、第95回全日本サッカー選手権大会に山形県代表として出場という輝かしい成績を収めたため。	他薦	医学部 内藤 輝	課外活動	
33	医学部ゴルフ部	代表：医学部医学科 森田 愛理 （もりた えり）	平成27年8月に行われた第58回東日本医科学生総合体育大会ゴルフ競技女子団体において第三位の成績を収めたため。	他薦	医学部 根本 建二	課外活動	

平成27年2月16日
山形大学

「放射光利用の最先端とこれからの地域創生」を開催いたします。

山形大学放射光で切り拓く地域創生研究拠点は、3月4日（金）に山形大学米沢キャンパスにおいてYU-COE(C)シンポジウム2016「放射光利用の最先端とこれからの地域創生」を開催いたします。講師の方々から放射光を利用した産学官連携の先端研究事例をご紹介いただき、地方創生について参加者全員で考えます。

現在、放射光を用いた高度分析評価技術は様々な分野へと普及して既存の分野の垣根を超えた新たな連携を生み出し始めています。放射光の優れた性能や特性を知ることが、今後のさらなる連携分野の拡大をすすめる上で非常に重要となります。

昨年に引き続き、山形大学「放射光で切り拓く地域創生研究拠点」YU-COE(C)は、3月4日（金）に山形大学米沢キャンパスにおいてYU-COE(C)シンポジウム2016を開催いたします。産学官の様々な分野でご活躍されている方々を講師としてお招きし、一般企業の方々にもわかりやすく放射光を利用した研究事例をご紹介いただきます。また、農業分野における研究事例や現在の課題について話題提供いただき、農業分野での放射光利用の重要性・可能性について参加者の皆様と意見交換します。参加無料ですので、ふるってご参加くださいますよう、よろしくお願い致します。

（お問合せ先）

山形大学学術研究院（工学部担当）

准教授 松葉 豪

電話 0238-26-3053

理学部 臼杵、北浦

工学部 神戸、松嶋、宮

地域教育文化学部 日高、小酒井

※山形大学「放射光で切り拓く地域創生研究拠点」YU-COE(C)は、山形大学の研究活動を高度化・活性化し、その優れた研究成果を活用して教育や社会に貢献することを使命として行動しています。

放射光で切り拓く次世代地域創成研究拠点 ミニシンポジウム2016

放射光利用の最先端とこれからの地域創生



日時：2016年3月4日（金）13：30～17：30

終了後懇親会（カフェ吾妻）：参加料 3000円

場所：山形大学米沢キャンパス5号館207室

主催：山形大学「放射光で切り拓く次世代地域創成研究拠点」（YU-COE(C)）

プログラム

13：30～13：40 開会

13：40～14：10

「天然の「放射光施設」を調べるために放射光施設を用いる研究」（山形大学）中森健之

14：10～14：40

「蛍光体の研究・開発におけるXANESとEXAFSの利用」（三菱化学）上田恭太

14：40～15：10

「Ⅲ族窒化物系新機能薄膜創成研究におけるXANESとEXAFSの利用」（京都工芸繊維大学）園田早紀

15：20～15：50

「高分子の結晶化とその精密解析（仮）」（京都大学）小西隆士

15：50～16：20

「食品分野における放射光利用の現状について」（JASRI/SPRING-8）佐藤眞直

話題提供

☆農業分野から

16：20～17：00（各20分程度）

「和牛肉の優れた食味成分に関する研究状況」

（山形県農業総合研究センター・畜産試験場）小松智彦

「ソルガムを活用したカドミウムのファイトレメディエーション」

（山形県農業総合研究センター・食の安全環境部）森岡幹夫

17：00～18：00

☆今後の新しい研究

学生ポスターセッション（15件程度）

18：00～19：30

懇親会（カフェ吾妻）

お申し込み

ご氏名、ご所属、ご連絡先を下記連絡先にメールもしくはFAXをお願いします。

連絡先：山形大学学術研究院（工学部担当） 松葉 豪
0238-26-3053（電話，FAX）
gmatsuba@gmail.com
<http://www.yu-sr.yz.yamagata-u.ac.jp/>



参加
無料

科学で東北を

科学テーマパーク来たる！子どもも大人も、ワクワク新発見！！

盛り上げ隊！@石巻

@大会場

「もち？こんにゃく？もちもち・のびるスライム」

洗濯のりを使わず、天然食材からスライムを作ります

「変形菌(粘菌)の広場」

変形菌の顕微鏡観察やキーホルダーづくりをします

「ふしぎなシートでキラキラ光の万華鏡」

分光シートの万華鏡で、光の不思議を体験しよう

「化石のプニプニレプリカを作ろう」

三葉虫がどんな生き物だったか、化石のレプリカを作って学びます

「紙コップ吸盤であそぼう！」

紙コップとクリアファイルなどで吸盤をつくり、大気圧の力を体感

「エコマイクを作ろう」

紙コップとバネを使ってマイクをつくります

「展示:バンデグラフ・ガウス加速器」

静電気を目で見たり、ビリッと体感することもできます

ふだんできない実験
や工作が勢ぞろい！

おもしろい&ふしぎな
体験がいっぱい
できるよ♪



@オープンワークショップ

「クラゲふれあいコーナー」

クラゲにタッチしてみよう！クラゲの赤ちゃんもいるよ

「えれめんトランプ/化学かるた」

周期表がカードゲームに。ルールは簡単。挑戦しよう！

@多目的室(工房)

「バルーンスライム」

スライム風船、どこまで大きく膨らませられるかな

「セッコウ結晶」

蔵王の石膏結晶を観察してみよう



♪小さなお子様は
保護者同伴でご参加ください♪

サイエンスショー

@視聴覚コーナー

10:30～11:00 絵本「けんすけと科学星だいぼうけん」
13:00～13:30 と科学実験 山形大学SCITA学生スタッフ

11:00～11:30 「クラゲの魅力を見つけよう♪」
13:30～14:00 クラゲマイスター

11:30～12:00 「化学反応は、おもしろい」
14:00～14:30 山形大学 栗山恭直 教授

都合により実施内容が変更となることがあります

2016年

3月5日 土

10:00～15:00

■会場 こもれびの降る丘 遊楽館
(石巻市北村字前山15-1)

■問合せ先 ☎023-628-4506

山形大学SCITAセンター内
やまがた「科学の花咲く」プロジェクト事務局
<http://mirai.scita.jp/~chiiki/>

主催 やまがた『科学の花咲く』プロジェクト(山形大学)
文部科学省「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

共催 山形県立博物館、東北大学大学院理学研究科、NPO法人ガリレオ工房、仙台第三高等学校、石巻高等学校
後援 石巻市教育委員会、東松島市教育委員会、女川町教育委員会、公益社団法人 日本化学会、鶴岡市立加茂水族館
河北新報社、公益財団法人 東京応化科学技術振興財団、日新製薬(株)、田宮印刷(株)